

**令和6年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち
農山漁村発イノベーション推進・整備事業(農泊推進型)
事業実施主体 評価一覧**

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進・整備事業(農泊推進型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した九州農政局管内の9地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地域が3地区、良好と認められる地区が1地区、総合的に低調と認められる地区が5地区との評価結果となった。
なお、1地区については事業を取下げたため、評価対象外となった。
総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

3. 各地区の評価結果 9件

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
九州	福岡県	うきは市	うきは中山間地区農泊推進協議会 株式会社ばすてるU			●	● ■ ★	★	◆			A	事業実績は売上高・延べ宿泊者数ともに目標を下回っていたためB評価としたが、施設整備は令和5年度に完了しており取組状況はA評価、実施体制も宿泊及び食事の施設が増えておりA評価であったことから、総合的な評価についてはA評価とした。
九州	大分県	佐伯市	SAIKI漁食泊まちづくり推進協議会 合同会社RENACIDO				●	● ■ ★	★ ▼	◇ △		C	主要な取組である体験コンテンツの販売及び商品コンテンツの開発が計画どおり実施できない状況にあり、取組状況、事業実績及び実施体制がC評価であるため、総合的な評価はC評価とした。地域内の関係団体や事業者との連携の見直し、新規構成員の参画の促進、外部の専門人材を活用したSNS等による情報発信に取り組んでいることから、今後の運営体制の強化、集客に期待する。
九州	熊本県	山鹿市	やまがAGROBASE協議会 やまがBASE株式会社					● ★	● ■ ▼	◇ △		C	取組状況及び事業実績がC評価であるため、総合的な評価をC評価とした。一方で、利益ベースでは事業計画を上回る水準で推移しており、状況を見極め都度軌道修正しながら進めている点は評価する。

九州	鹿児島県	瀬戸内町	瀬戸内町					★	★	◇	B	取組状況及び実施体制はいずれもA評価であるが、計画に位置付けられた施設の整備は完了しているものの、本格運用は令和7年度からであるため、総合的評価はB評価となった。
九州	長崎県	島原市	島原市新農泊推進協議会						●	○ □	A	「農泊インバウンド受入促進重点地域」に選定されていることから、インバウンド客向けの体験コンテンツの開発を行っている。令和7年度は、より多くの集客に向けて、開発したプログラムの販売、認知度向上、人材の確保に努められたい。
九州	長崎県	小値賀町	特定非営利活動法人おちかアイランドツーリズム協会						●	○ □	A	インバウンド客を対象にした商品の高付加価値化に取り組み、料金単価の引き上げを実行している。また専門家による、単価引き上げに見合った商品作り、ガイド育成等の取組も実施されたことから、今後も単価と売上額の増加に期待する。
九州	熊本県	山都町	山都農泊協議会						● ▼	○ □ △	C	事業実績がC評価のため、総合的評価をC評価とした。ガイドの育成等を通して、受入れ農家の負担軽減にも力を入れ、持続可能な農泊の実現に向け着実に歩を進めており、今後の取組に期待する。
九州	大分県	日田市	hitaぐるりぐっと協議会						● ▼	○ □ △	C	売上高、宿泊者数がC評価のため、総合的評価をC評価とした。体験型マルシェ(家に持ち帰り育てることができる椎茸の駒打ち体験等)の活動を中心に、体験プログラムのモニタリングや料理のブラッシュアップが実施されていると評価する。ちらしの作成、ウェブサイトの設置、Instagramによる情報発信に取り組んでおり、今後の売上及び宿泊数の増に期待する。
九州	大分県	宇佐市	宇佐南院内地域プロジェクト推進協議会						● ▼	○ □ △	C	売上高及び宿泊者数がC評価のため、総合的評価はC評価としたが、地域の団体や大分県内の大学及び宇佐市との連携により、プログラム開発等の取組は計画どおり進捗しており、また、近隣の農泊協議会と連携して活動しており、今後の取組に期待する。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:松添 直隆(熊本県立大学 教授)
委員:須川 一幸((株)地域新興研究所 所長)、家入 ひとみ(元熊本県職員)

【令和7年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和7年7月17日(木) 14:00~16:30 2 場 所 :熊本地方合同庁舎A棟10F 農政第6会議室 3 議事概要 ① 令和6年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和6年度に事業を実施した9地区の、取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、質疑応答を行った。なお、1地区については事業を取下げたため、評価対象外となった。 4 主な意見 ・ 売上高及び宿泊者数が目標を下回ったために総合的にC評価となった地域が多く、目標達成に向けた取組の工夫や改善が必要。 ・ インバウンド客向けの体験コンテンツの開発や商品の高付加価値化に取り組んでいる地域の事業実績が好調な傾向を示しており、多くの地域への波及を期待する。 ・ 取組の優良事例等は、情報共有して横展開が必要。
第2回評価委員会
1 日 時 :令和7年8月20日(水) 14:15~16:30 2 場 所 :熊本地方合同庁舎A棟10F 農政第6会議室 3 概 要 ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和6年度に事業を実施した9地区の評価案等に関して、了承を得た。 4 主な意見 ・ 進捗がわずかに遅れ、目標が達成できずC評価となった地区がいくつかあったが、取組状況は良好であるため、次年度以降に期待したい。 ・ 自然災害が発生した時の対応・体制を整えること。(ハザードマップの共有、市町村との連携、避難場所の設定など。インバウンド客への対応も含め、備えること。)国に対し、全国統一的なマニュアルを検討してほしい。 5 農泊施策全般に係る意見 ・ 新型ウィルスも含めた自然災害等の後に、回復しきれていない地区へのアドバイスの場があるとよい。